

9月10日(月)

天 国 の 光

聖書朗読 ヨハネ 8：12～20

しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

Iヨハネ 1：7

2018年9月10日～9月16日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

今日の聖書朗読を読むと、光の源が分かります。それはイエス様！です。しかし、それが分からない人たちもいます。その人たちは、イエス様に真面目に質問したのでしょうか。イエス様は浅薄な皮肉を言ったのではなく、異なる方法を用いて彼らにお答えになったのに。

パリサイ人たちは、まずイエス様が自らを証人となさったことを罪としました。そして、イエス様を嘘つきとして責めました。イエス様が証人であることは真実でしたが、彼らにはそれが分からなかったのです。イエス様はご自分と天のお父様の力を彼らに分かせようと、短い説教をもって彼らの問いに答えました。

彼らはイエス様に、「天のお父様はどこにいるのか」とたずねました。キリストは彼らの心を見抜きながら、簡潔に応答なさいました。彼らは、神様が誰なのか、彼らが話しているのは誰なのか分からず、また分かろうともしませんでした。彼らがしようとしたことは、私たちの主の信用を傷つけることだけでした。

私たちは、救い主が話しかけるとき、本当に聞こうとしているのでしょうか。また、私たちは高みからの智恵を得ることより、自分の議題を自己完結しようとしているのではないのでしょうか。もし、賢明になりたければ、光と真実の源を求めなければなりません。

讃美歌 533

祈り お父様。私が聞きたくないと思っている時にも、どうぞあなたの言うことを聞くことができるように私を助けてください。あなたの道が最良なのだとして私が信頼することができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ステイーブン・クラーク&ローラ・マリー・ゴアド
カリフォルニア州 ブライゼ

御茶の水キリストの教会

9月11日(火)

敵を見くびってはいけません

聖書朗読 ヨハネ 8：34～37

ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。
ヤコブ 4：7

トーマス・カーライルがラルフ・ワルド・エマーソンをつれて、罪にまみれたロンドンの暗い通りを通り過ぎてから、彼にこう尋ねました。「今、君は悪魔を信じるかい？」

現在私たちの時代には、テレビや新聞が、毎日のように犯罪、脱落、墮落、不正のニュースを伝え、まるで悪魔の存在を証明しているかのようです。今日の聖書朗読では、悪魔が信条としてではなく、人として描かれています。「デビル」という単語は、「にせの告発者」という意味です。イエス様は悪魔を「嘘つきの父親」と呼びました。悪魔があなたにしようとすることを見くびってはいけません。

悪魔に対峙するにはどうすればよいか、ここにヤコブの戦略があります。『』一番目に、あなた自身を神様に差し出さなさい。神様は悪魔よりもはるかに力のある方だからです。祈りを通し、神様といつも接触し続け、神様を完全に信頼するのです。二番目に、悪魔に立ち向かいなさい。誘惑に負けてはいけません。これには十分な自制心と、悪魔の仕業のすべてを警戒することが大切です。三番目に、そうすれば、悪魔はあなたから逃げ去ります。悪に打ち勝って勝利がやってきます。その勝利によって、私たちはさらに救われ、赦され、強められます。救い主は、私たちが担うことのできないような試みに合わせるようなことはなさいません。

讃美歌 276

祈り 私たちを試みに会わせしないで、悪からお救いください。国と力と栄えは、とこしえにあなたのもだからです。

イエス様の御名において。アーメン。

ヘレン・M・ヨング 1971年

9月12日(水)

根本的な問い

聖書朗読 ヨハネ 8：48～53

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

マタイ 16：15

イエス様が、「わたしのことばを守るならば、その人は決して死を見ることはありません。」とユダヤ人たちに言われたとき、彼らは、アブラハムは死に、預言者たちも死んでしまったことを引き合いに出しながら、「それなのに、あなたは自分自身をだれだと言うのですか」と応答しました。(ヨハネ8：53)。

それはクリスチャンの信仰にとって、根本的な問いです。イエス様とはいったい誰なのでしょう。イエス様自身が自分がそうだと主張しているのでしょうか。イエス様は永遠に生き続けるのでしょうか。イエス様はいのちの水でありパンなのでしょうか。イエス様が道であり真実であり、永遠のいのちなののでしょうか。天国のお父様へ通ずるただ一つの道なののでしょうか。ヨハネによれば、イエス様こそがこれらすべての描写に当てはまる方なのです。

ユダヤ人たちはイエス様に質問しました。そしてイエス様も弟子たちに質問なさいました。「あなたは私をだれだと言うのですか」。今日も、イエス様はご自分の弟子たちに同じ質問をなさい続けています。言葉においても行動においても、私たちはイエス様をだれだと言っているのでしょうか。今日、人々が私たちの人生を見たら、イエス様がよき教師であり、敬愛すべき人格者であると思ってくれるのでしょうか。そして、私たちが無二の主としてお辞儀をしていると信じてくれるのでしょうか。

イエス様ご自身を「私的那个人です」として主張なさることは、疑いのないことです。ヨハネの福音がそう述べていますし、マタイの福音書には、天と地のすべての権威においてそれが述べられています。しかし、私たちの行動はどうでしょうか。

讃美歌 121

祈り 私たちの聖なるお父様。あなたの息子がこの時代の前から存在している方であると認めます。私たちを贖ってくださいただ一人の方だと認めます。お父様、私たちがイエス様をこの世界の前に認めることができるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

タイヤー・サリスベリー
オハイオ州 トレド

9月13日(木)

私たちの計画、それとも主の計画？

聖書朗読 ヨハネ 11:17~27

わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。 イザヤ 55:8~9

自分の日誌を読み返してみたら、あるパターンがあることに気づきました。いつも神様が私の計画を祝福してくれるようにとお願いしていました。

マリヤとマルタも、イエス様に弟ラザロの病を癒してもらおうとしたとき、主が彼女たちの計画を祝福してくれると期待していました。イエス様が到着なさった時、すでにラザロは亡くなり、4日前に埋葬されていました。マリヤとマルタはイエス様に自分たちの失望を訴えました。なぜイエス様はもっと早く来ることができなかったのでしょうか。なぜイエス様は愛する姉妹たちを苦しめたのでしょうか。

マリヤとマルタの計画は、主の計画に比べれば大したことではありません。姉妹たちは弟との地上での関係を長引かせたかったのです。一人の人の病を治し、肉体的な死から救いたかったのです。しかし、主はすべての人を罪から癒し、精神的な死から救い、主と永遠の関係を保てるようになさったかったのです。

ラザロの死と蘇りは、イエス様を逮捕と十字架へ導く発端となりました。究極には、十字架が、すべての人類にとって癒しと救いをもたらすのです。

次の機会に神様に自分の良き計画を祝福してくれるように頼むときは、神様の方法とお考えが私たちのそれよりも高いということを覚え、神様の目的が達成されるように祈らなければなりません。

讃美歌 511

祈り お父様。私たちはあなたに、私たちの計画を祝福してくださいとよくお願いします。今日の日、私たちの心と祈りと人生を向け直し、あなたのご計画と目的が完遂されるようになさってください。

イエス様の御名において。アーメン。

サリー・シャンク
ウエストバージニア州 ビエナ

9月14日(金)

神様の栄光

聖書朗読 ヨハネ 11:32~44

ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださるためです。 Iペテロ 5:6

栄光なるイエス様は、ラザロのお墓に到着した時、お怒りになられるほどに深く心を動かされました。なぜでしょうか。マルタとマリヤは、イエス様がもう少し早く到着していれば、ラザロを治すことができると信じていました。ラザロが死体となってしまった今、姉妹たちの信仰が揺らいだからでしょうか。それとも人々がイエス様の力を疑い始めたからでしょうか。人々がいらだち、どうしていいのか分からなかったからでしょうか。ラザロが死んでから4日間のあいだ、何もなすすべがなかったのです。

私たちもマルタやマリヤのようにいらいらしがちです。神様がすぐに来てくれない時には、神様は私たちのことは気に掛けてくださらないと思ったりします。イエス様は気に掛けてくださいました。イエス様は泣かれたのです。イエス様は正しい時に来たので、集まった人々全員が神様の栄光を見ることができました。神様の時間には理由があります。神様は主を信頼するすべての人を大切にしてくださいます。

人生での問題や嘆きが、ときには私たちの心を不信仰に向かわせるときがあります(ヘブル3:12)。イエス様はご自分を信じる者の心を安らかにしてくださいます(ヨハネ14:1)。ペテロは私たちの思い煩いをいっさい神にゆだねるようにと勧告しています(Iペテロ5:7)。イエス様は私たちを大切にしてくださいます。はい、してくださいます。

讃美歌 106

祈り 親愛なる主よ。私の不信仰な心を助け、状況にかかわらずあなたの方を向くことができるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ガイネル・トーマス
ニューメキシコ州 ポーテイルズ

9月15日(土)

栄光なる歓迎

聖書朗読 ヨハネ 12:12~19

その日、主の若枝は、麗しく、栄光に輝き、地の実は、イスラエルののがれた者の
威光と飾りになる。 イザヤ4:2

あなたは今までに誰かとても重要な人物に出会ったことはありますか。私が少年
だったとき、私は父に連れられて、政府の要人を見に行ったことがあります。彼の演
説を聴こうと、大勢の観衆がいました。楽隊が音楽を奏で、辺りは興奮で包まれてい
ました。

イエス様がエルサレムに到着なさったときも、同じ様な歓迎を受けたことでは
う。観衆はイエス様をシュロの葉をもって歓迎しました。ロバの子に乗ったイエス様
が通り過ぎるのを見ながら、観衆はほめたたえる言葉を叫んだことでしょう。

しかし、誰もが喜びに興奮していたわけではありません。弟子たちでさえ、初め
のうちは理解できませんでしたが、この歓迎がパリサイ人々を挑発してしまったの
です。民衆はなぜそんなにも喜びに興奮したのでしょうか。多くの人々が、イエス様
がラザロを生き返らせたことを知っていました。それでイエス様を一目見たかったの
です。

イエス様のみわざをじかに目にすれば、ほめたたえ礼拝したいという気持ちにな
ります。ユダヤの指導者の前にペテロとヨハネが呼ばれたとき、彼らは言いました。
「私たちは自分たちが見たこと聞いたことを話さずにはいられないのです」。あなたは
イエス様があなたの人生で、また他人の人生の中で働かれるのを見たことがあります
か。

讃美歌 332

祈り 親愛なる主よ。あなた地上でなさった仕事はなんと素晴らしいのでしょうか。
それによって、今日まで私たちの人生が続いています。あなたがなされた
仕事に目を向けることができるように助けてください。そしてあなたが受
け取るべき栄光と名誉を捧げることができるようになります。

イエス様の御名において。アーメン。

J・リチャード・トムソン
テネシー州 ナッシュビル

9月16日(日)

迷ったら、問いなさい

聖書朗読 ヨハネ 14:5~7

求めなさい。そうすれば与えられます。

マタイ 7:7

疑い深い人として世界的に有名な人をあげるとしたら、だれを思いつきますか。あ
なたはキリストの弟子トマスを思いつくのではないのでしょうか。疑い深い人として有
名なトマスは、疑いがあるときにはどうすればいいか、私たちに教えてくれました。
それは質問することです。

疑いがあれば質問する、これ自体は皮肉的でも批判的でもありません。トマスは真
摯に理解したいという思いから質問しただけだったのでしょうか。イエス様が弟子たち
に『わたしの行く道はあなたがたも知っています。』(ヨハネ14:4)と言われたと
き、多分トマス以外には、勇気を出して質問できた人がいなかったのでしょうか。『主よ。
どこへいらっしゃるのか、私たちにはわかりません。どうして、その道が私たちにわ
かりましょう。』この質問に、イエス様は見事に断言されました。『わたしが道であ
り、真理であり、いのちなのです。』(ヨハネ14:6)。

将来について、自分の価値について、信仰について、私たちの誰もが時に応じて疑
います。しかし、疑いがあれば問えばよいという行動の手本をトマスが私たちに示し
てくれました。自分自身について疑いがあるときは、信頼できる人に質問して答えを
求めましょう。神様について疑いがあるときは、それを恥としてはいけません。ヤコ
ブが言っています。『知恵の欠けた人がいるなら、その人は、神に願いなさい。』(ヤコ
ブ1:5)。神様が答えてくださいます。

讃美歌 243

祈り 親愛なる主よ。私たちの疑いを赦してください。智慧を求め、あなたに仕
える勇気をください。私たちを疑いに満ちた者として創造して下さった
のはあなたです。どうぞ私たちを導いてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョシュ・ボイド
インディアナ州 ラファイエット